

## 明日を担う若手職員を紹介します！

No.9 県庁道路建設課 技師 木村譲治さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第9回は、北東北三県人事交流で秋田県から本県に出向している県庁道路建設課の木村技師です。

### Q1 担当している仕事を教えてください

平成6年度秋田県入庁

秋田県では、河川砂防・ダム管理・道路建設・産業振興等と幅広く経験してきましたが、中でも道路建設関係が長く、主に設計監督を担当してきました。

(現在) 道路建設課 2年目【北東北三県人事交流】

北東北三県人事交流で、昨年度から県庁道路建設課に勤務し、主に道路改築事業や交付金事業など道路整備関係の予算管理の業務を担当しています。



### Q2 仕事の面白いところは何ですか？

新しい道路の完成により、時間短縮や交通安全確保などの整備効果が発現し、地元の皆さんに心から喜んでいただけることにとてもやりがいを感じます。また、技術職員として、新しい発想や新技術の活用、より良い品質管理などにより、整備後の維持管理費が軽減されるような道路整備を進めることに面白さを感じています。

### Q3 仕事の難しいところは何ですか？

秋田県出身の私にとって、地理状況もよくわからない岩手県勤務は、担当する事業箇所の状況を把握するのも一苦労です。さらに、県庁勤務は秋田県も含めて初めての経験ですが、個人的に苦手な説明力を求められる業務が多いので、いつも頭を抱えています。

また、地元の皆さんと信頼関係を築くことや、地元のニーズをしっかりと理解するためのコミュニケーションにも苦労しています。

### Q4 どんな職場ですか？

それぞれが職場の良い雰囲気づくりを意識しているのが感じられ、相談しやすく一人で悩むことが少ない職場です。若手も意見が言いやすく、交通整理(課題整理)が上手な上司にも囲まれて居心地が良く、秋田県出身の私と違って、比較的酒が得意でない人が多い? 職場です。

### Q5 最後に一言(今後の抱負など)!

何事にも前向きに一生懸命やるのが自分のスタイルで、今後も続けていきたいと思えます。また、誰に対してもどんな場面でも、自分の将来の糧になるように、真摯に向き合いたいと思えます。

